

目次

概要

[どのように LCS レジストラとはたらくために TelePresence 製品を設定しますか。](#)

関連情報

概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence IP GW 3510、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

Q. LCS レジストラとはたらくために TelePresence 製品を設定する方法

A. ソフトウェア バージョン 2.4(1) 前に NTLM から認証はサポートされず、従って MCU/IP VCR/IP GW は信頼できるホストとして追加されないでオフィス Communications Server 2007 年 (OCS) の regisiter できます。

1. **Start > Administrative Tools** へ行くことから LCS インターフェイスを **> ライブ Communications Server 2005** 年開始して下さい。
2. ソフトウェア バージョン 2.4(1) 前に NTLM から認証はサポートされず従って MCU は LCS にユーザアカウントの使用によって登録でき、パスワードはサーバで設定しました。その方式を使用する場合、ステップ 4. にスキップして下さい。MCU を信頼できるホストとして設定するために、ステップ 3. に行ってください。
3. サーバ名を右クリックし、『**Properties**』を選択して下さい。ホスト許可タブで LCS と登録する MCU/IP VCR/IP GW の IP アドレスを『**Add**』をクリックし、入力して下さい。認証されるように使用例を選択して下さい。
4. LCS サーバで、MCU/IP VCR/IP GW のためのユーザを設定して下さい:**Start > Administrative Tools > Active Directory Users and Computers** に行ってください。ユーザを右クリックし、**New > User** の順に選択して下さい。(個人の関連にリストする現われる) の名前を MCU/IP VCR/IP GW 入力し、それに形式「**examplename@example.com**」のログオン名前をつけて下さい。[**Next**] をクリックします。MCU/IP VCR/IP GW のためのパスワードを入力して下さい。認証されたホストがこれ未使用であるように MCU を追加した場合ことに注目して下さい。Untick はユーザを次の時間それらログインパスワードを変更するためにプロンプト表示するチェックボックス、チェックボックスパスワードは決して切れないことメッセージを表示するチェックし。『**Next**』をクリックし、そして『**Finish**』をクリックして下さい。
5. ユーザのリストでは、ちょうど作成したダブルクリックし、**ライブ通信**タブを選択して下さい MCU/IP VCR/IP GW を。
6. ライブ通信を『**Enable**』を選択して下さい。
7. 今「一口と前に付けられるログオン名前を、入力して下さい:」というエラーメッセージが表示されます。例でこれは「一口です: **examplelogon@example.com**」。
8. サーバ名をサーバまたはプール廃棄からリスト選択し、『**OK**』をクリックして下さい。
9. 登録したい自動転送および会議のためのステップ 4 に 8 を繰り返して下さい。ステップ 7

で選択するログオンは会議/記録または自動転送の数字 ID であるはずですが。-各会議のために...、それを会議リストから選択し、**Configuration タブ**をクリックし、そして SIP レジストラを選択して下さい。それから**設定 > SIP**に行けば SIP 登録設定のために割り当て会議登録を選択して下さい。-各記録のために...、それを記録リストから選択し、SIP レジストラを選択して下さい。それから**設定 > SIP**に行けば SIP 登録設定のために割り当て記録登録を選択して下さい。

10. MCU/IP VCR/IP GW で**ネットワーク > Services**に行き、着信 有効になる場合) SIP (TCP) およびポート A のための SIP (UDP) を有効にして下さい (およびポート B のために)。
11. **設定 > 会議**に行けば E.164 未知数への着信コールのために自動転送を『DEFAULT』を選択して下さい。
12. **設定 > SIP**に行ってください。
13. ステップ 9 で会議、記録物または自動転送をそれぞれ登録しなかったら、SIP 登録設定のために MCU を『register』を選択しますか、IP VCR を登録するか、または IP GW を登録して下さい。さもなければ割り当て会議登録を選択するか、または適切ように *Recording* 登録を、許可して下さい。
14. SIP レジストラ アドレスのための LCS サーバのアドレスかホスト名を入力して下さい。
15. SIP レジストラ型に関しては、LCS を『Microsoft』を選択して下さい。
16. ユーザ名を、例えば examplelogon@example.com 入力して下さい。NTML authentication を使用している場合、ステップ 4. v. で設定したそのアカウントのためのパスワードを入力して下さい。
17. オーディオコーデックに関しては G.723.1 を選択して下さい。これは G.711u を使用してより LCS のためのよいフレーム レートを与えます。残りのフィールドはデフォルトとして残すことができます。
18. **変更**を『Apply』をクリックして下さい。画面は示す値を含んでユニットが登録されていること、リフレッシュします。(これは処理するために秒か 2 を奪取 するかもしれませんが : それを見るためにページを再度リフレッシュする必要がある場合もあります)。
19. MCU/IP VCR/IP GW はオフィス伝達者の関連リストに今入り、ビデオおよび可聴周波呼び出しに呼出すことができます。
20. MCU/IP VCR から呼出すため:または呼出は追加参加要素ページ (MCU) に行き、記録ページ (IP VCR) を記録しか、または呼出し、します。アドレス/ホスト名が IP アドレスに関しては、ドメイン (すなわち 「examplename」 ない 「examplename@example.com」) なしでユーザネームを入力して下さい。コール プロトコルに関しては、SIP を選択して下さい。使用 SIP レジストラを選択して下さい。**エンドポイント**を『Call』をクリックして下さい。
21. IP GW から呼出すために、アクションの種類が SIP レジストラであるダイヤル プラン ルールを設定して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)